



サステナビリティ ソリューション



電力・エネルギー
新ビジネス発見ツアー
英国訪問メンバー募集



British Embassy
Tokyo

後援:



事業構想研究所

The Graduate School of Project Design
(Professional Graduate School)

主催:



日本ビジネス出版株式会社



EnMS-Doc Associates

コーディネータ:



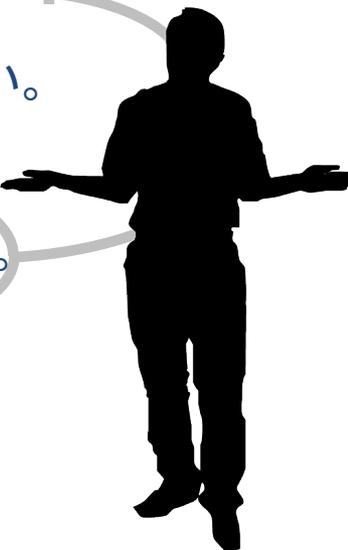
～ ミッション ～

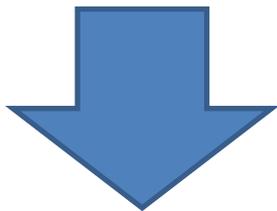
日本で、これから必要とされる新ビジネスを発見する

1. 節電・省エネの新ビジネス
2. 得られたエネルギーデータを使ってはじめる新ビジネス

- ① エネルギーと経営管理を融合したソリューションソフトウェア
- ② デマンド管理や例外管理機能などの BEMS 機能を最適化するソリューションソフトウェア
- ③ 電力取引および卸業のソリューション
- ④ 電力・ガス・再生エネルギー最適ミックスソリューション
- ⑤ エネルギー請求支払効率化ソリューション
- ⑥ カーボン削減義務ソリューション

キーワード: 節電、省エネ、見える化、BEMS-アグリゲータ、ZEB、スマートシティ、
電力取引、バーチャルパワープラント、デマンドレスポンス、
エネルギーデータプロバイダー、eビルング、省エネ評価基準

- 
- 
- ✓ エネルギービジネスは、競争が激しく、想定外に儲からない。
 - ✓ 今は、利益をとれているが、2～3年後が心配だ。
 - ✓ 売りっぱなしで、もったいない。
 - ✓ 顧客にヒアリングしても、新ビジネスの答えが見つからない。
 - ✓ 自社の勝ちパターンを模索している。



日本の2～3年先を行くと言われる英国に訪問



- ポイント① これから日本で必要とされる新ビジネスを、肌で実感。
- ポイント② 自社で取り組むべき、新ビジネスのアイデアを得る。
- ポイント③ ビジネスパートナーを見つける。



対象:

エネルギー関連ビジネスを手がける企業

- ・BEMSアグリゲーター
- ・節電、省エネ、蓄エネ、再生可能エネルギー機器メーカー、SI、販社
- ・省エネ法対応ソリューション提供企業
- ・IT企業、インフラ企業



エネルギー関連ビジネスは、新時代に突入しました。
個別の商材を開発・営業することは、短期的には、もちろん重要ですが、
中期的な視点にたち、アイデアを出し、事業を構想することが、今、必要です。

エネルギーマネジメントシステム

BEMS

ISO50001

FEMS

HEMS

見える化

デマンドコントロール

省エネ／再エネ機器
再エネ発電所
省エネビル・工場

法対応ソリューション

・省エネ法
・自治体条例(東京都など)

どう活用するか？

エネルギーデータ

【外部環境の劇的な変化】
・電気料金、燃料費高騰、新電力
・発送電分離、電力取引活発化
・電力卸市場開設、全量買取開始・・・

日本で、これから必要とされる新ビジネスとは？

1. 節電・省エネの新ビジネス
2. 得られたエネルギーデータを使ってはじめる
節電・省エネ以外の付加価値の高い新ビジネス

次の
ビジネスへ

日程概要

期日	都市	発着	現地時間	交通機関	適用
1 2012年 11月4日 (日)	成田空港 ロンドン(ヒースロー)空港	発 着	昼頃 夕方	航空機 JL/ANA 専用車 JSA	空路、ロンドンへ 到着後、市内ホテルへ 【ロンドン市内泊】
2 11月5日 (月)	ロンドン滞在			専用車	ホテルにて朝食 ロンドン大学 新事業ミッションサステナビリティ デー am 大学構内サステナビリティ事業視察 pm 大学関係者および招待会社と新ビジネス・新技術情報交換 【セネターハウスにて】 【ロンドン市内泊】
3 11月6日 (火)	ロンドン滞在			専用車	ホテルにて朝食 CEREB (Centre for Efficient and Renewable Energy in Buildings)にて 新ビジネス(ソリューションソフトウェア主体) 関連会社との交流と情報交換ワークショップ参画 【ロンドン市内泊】
4 11月7日 (水)	ロンドン ↓ ミルトンキーンズ (Milton Keynes)			専用車	ホテルにて朝食 am ロンドン市内サイト視察 ウエストフィールドショッピングタウン BEMS運用、データ収集・分析・報告 およびサステナビリティ設計オリンピック村跡視察 pm ミルトンキーンズ市 ミルトンキーンズ市議会が事業促進するスマートシティ内容視察 および関連企業との交流セミナー 【ミルトンキーンズ市内泊】
5 11月8日 (木)	ミルトンキーンズ (Milton Keynes) ミルトンキーンズ (Milton Keynes) ↓ ロンドン				ホテルにて朝食 TEAM 社ユーザーカンファレンス出席 ロンドンへ移動(16:30 ~ 18:00) 【ロンドン市内泊】
6 11月9日 (金)	ロンドン(ヒースロー)空港	発	夜	航空機 JL/ANA	ホテルにて朝食 出発まで自由行動 (新ビジネス商談の場設定) 空路、帰国の途へ 【機内泊】
7 11月10日 (土)	成田空港	着	午後		到着後、解散

※利用交通機関、および発着時間等は変更になる場合があります。

ロンドン大学 (University of London)

新事業ミッションサステナビリティ・デー



ロンドン大学 (University of London) は、1836年に設立された、イギリスのロンドン市中心部、ラッセル・スクウェアに本部を置くカレッジ制の大学である。各カレッジはそれぞれ独立した別の大学であるが、ロンドン大学連合として、サステナビリティ事業分野に特に力を入れており、第一人者として知られる

- ロンドン大学 (University of London)
「見える化」および M&V (measuring and verification: エネルギー計量と効果評価検証) 機能利用施設視察

見える化、M&Vで生み出している価値
(みどころのポイント)

ディスカッション・テーマ

- 節電
- 省エネ
- BEMS-アグリゲータ
- ZEB
- スマートシティ
- 電力取引
- バーチャルパワープラント
- デマンドレスポンス



新事業ミッションサステナビリティ・デー プログラム(案)

- 10:00 - 12:00 大学構内サステナビリティ施設・研究機関視察
- 12:15 - 13:00 昼食
- 13:00 - 13:15 ロンドン大学関係者 による歓迎の挨拶
- 13:15 - 14:00 ロンドン大学サステナビリティ新事業への取組
- 14:00 - 15:00 参加企業によるサステナビリティ新事業紹介
- 15:00 - 15:30 ミッションメンバーによる企業自己紹介
- 15:30 - 16:30 パネルディスカッション(全員参加)⇒ネットワーキング
- 16:30 - 17:00 個別商談
- 17:00 - 17:15 閉会

ロンドン・サウスバンク大学教養学施設 K2 建物の屋根裏階を利用した、CEREB (ビル建物再生およびエネルギー効率化センター) 再生エネルギーと高度なエネルギーソリューションを組み込んだデモ施設をリソースとしたユニークな研究および技術養成・コンサルティング機関です。



CEREB の施設を視察および、CEREB の技術とエネルギーをマネジメントするソリューションソフトウェアの技術を融合し、電力パフォーマンスの改善と状況に合わせた最適エネルギー源の組合せを実現する内容を、事例を含めて見ていきます。



ワークショップ プログラム(案)

- 09:00 CEREB 歓迎の辞
- 09:15 CEREB ミッションと活動内容
- 09:15 CEREB 提供技術: 発熱、ヒートポンプ・パフォーマンス、太陽熱システム
- 11:00 続) バイオマスボイラーとCHP、太陽光発電、風力発電
- 12:00 質疑応答
- 12:30 昼食
- 13:00 CEREB 施設視察
- 13:30 TEAM Sigma データ収集・分析・報告技法
- 15:10 TEAM Sigma 応用事例
- 16:00 wiki50001 EnMS 運用管理ツール 日本語版
- 16:30 ソフトのデモ・実演
- 17:00 閉会

ディスカッション・テーマ

- 電力経済的ベストマッチ
- エネルギーと経営管理を融合したソリューションソフトウェア(見える化およびデータ収集報告機能)
- デマンド管理や例外管理機能などの BEMS 機能を最適化するソリューションソフトウェア
- エネルギー請求支払効率化ソリューション(eビルング)
- カーボン削減義務ソリューション
- エネルギーデータプロバイダー
- EnMS 運用管理ツール

午前



訪問先申請中
再検討

London 市

- ウェストフィールドショッピングタウン (West Field Shopping Town) BEMS とソリューションソフトウェアスイートを実用しているショッピングモールを視察
- ウェストフィールドショッピングタウン とオリンピック村のサステナビリティテーマと今後の地域社会への取組視察

BEMS、ソフトで生み出している価値
(みどころのポイント)

午後



Milton Keynes 市

- ミルトンキーンズ市市議会 (Milton Keynes City Council) が進めるスマート導入後の スマート活用の取組み視察と

Milton Keynes 市議会が現在の事業パートナーとしてセミナーに参加を促すプレーヤー:

- 1) エネルギーの小売供給事業者
- 2) 配電事業者
- 3) データ・情報ネットワーク構築事業者
- 4) 炭素ガス排出削減促進事業者

英国 EnMS および Carbon Management ソリューションソフトウェアプロバイダー
TEAM 社 (Energy Auditing Agency Ltd.)



第24回年次ユーザグループ大会に英国訪問使節団をご招待

- ❖ 英国ならびに欧州の最新ソリューションソフトウェア動向の情報が入手できます。
- ❖ 英国ならびに欧州の最新の電力・エネルギー・マネジメントのビジネス動向の情報が入手できます。
- ❖ 代表的なユーザによるソリューションソフトウェアへの課題や利点の生の声が聞けます。
- ❖ 「エネルギー・マネジメント」と「エンタープライズ」を融合する ソリューションソフトウェアの最新情報が提供されます。



- ❖ TEAM社による先端ソリューションソフトウェアスイートの応用例が説明されます。



- ❖ ユーザ約120社との交流が図れ、幅広い業界情報が得られます。

個別ビジネス折衝の日（自由行動）

- 最終日は、英国でのコンタクトにおいて、今後のビジネスへさらに打合せを必要とするメンバーのために、時間をご用意しています。
- その他のメンバーは、以下のサステナビリティ事業展開モデルを視察していただきます：
 - 電力取引所の実態
 - オリンピック村（Olympic Village）のサステナビリティの状況と今後どのように、持続させていくかを見ていただきます。

その他自由時間がございます。

夕刻ロンドン出発予定

主催者・コーディネーター紹介

主催者)



事業構想研究所

学校法人東教育研究団 事業構想大学院大学附属事業構想研究所

事業構想研究所は、学校法人東教育研究団が運営する事業構想大学院大学の附属機関。
事業構想とは、社会から事業の「種」を見つけ出し、社会の一翼を担うプロジェクトを実行することです。
そのために自由に考え、語り合い、アイデアを育むことが重要です。
本ミッションにおいては、事業構想大学院大学から、データベース活用が専門(工学博士)の岡伸人准教授が随行し、今後、爆発的に蓄積されるエネルギーデータを活かした次のビジネスへの展開を、参加企業の皆様とアイデアを出し、議論を深めます。



日本ビジネス出版

株式会社日本ビジネス出版 環境ビジネス編集企画部

発行部数4.5万部の環境ビジネス誌を1998年の創刊以来、業界のパイオニアとして出版しています。
現在では、WEB「環境ビジネスオンライン」にも力を入れ、100万アクセス/月、メルマガ会員4万人を持つ、環境ビジネス分野、最大のWEBサイトを運営。
読者は、企業・官公庁の環境推進部署と企業の環境ビジネス部門。
これまでに、ドイツ、オーストリア、中国、ベトナムで環境ビジネスのマッチングツアーを開催してきた実績があります。

コーディネーター)



EnMS-Doc アソシエーツ 山之内 登 氏
エネルギー管理システム(EnMS) スペシャリスト



EnMS-Doc アソシエーツの紹介事業目的は、エネルギー管理システム(EnMS)による持続可能な事業開発の促進。15年以上にのぼる数々のエネルギー・ユーザとの実りあるエネルギー管理運用活動の経験をもとに、ISO 50001と省エネ法「管理標準」に適合するEnMS運用と実際の運用の強化に導くEnMS文書:ガイドライン、計画・報告書、監査の実施、エネルギー・モニタリングの提案、「省」活動の提案などを反映したテンプレートの提供を行っています。代表の山之内氏は、山武(現社名:アズビル)で長年、エネルギー管理システムのスペシャリストとして勤務し、日本国内のみならず、グローバルに実績をあげています。現在は、独立し、EnMS分野を通して持続可能な事業の展開を促進しています。

料金・お申し込み先

料金

898,000円（税別）※

※詳細、プログラムは変更する場合がございますので、予め、ご承知ください。

【お申し込み先】

学校法人東教育研究団

事業構想大学院大学 附属 事業構想研究所

『電力・エネルギー新ビジネス発見ミッション 担当』 まで

〒107-8411 東京都港区南青山3丁目13番16号

TEL 03-3499-8411 FAX 03-3499-8412

e-mail info@mpd.ac.jp

【企画内容についてのご質問】

株式会社日本ビジネス出版

環境ビジネス 編集企画部 担当:織田(おだ)

〒107-8550 東京都港区南青山5-2-1

NBFアライアンスビル4階

TEL 03-3499-8412 FAX 03-3499-8422

携帯 070-6563-8517

e-mail oda@kankyo-business.jp

主催者・日本ビジネス出版(環境ビジネス)が説明会を実施します。

【日時】

第1回 8月31日(金) 17時～18時30分

第2回 9月4日(火) 17時～18時30分

第3回 9月6日(木) 16時～17時30分

【プログラム】

- 1.本視察ツアーのテーマ説明 (5分)
- 2.事業構想の必要性とその発着想 (25分)
- 3.ツアーの内容・詳細 (25分)
- 4.質疑・応答 (15分)
- 5.個別質問 (20分)

【企画】 株式会社日本ビジネス出版

【監修】 事業構想大学院大学附属事業構想研究所

【後援】 駐日英国大使館

【場所】 事業構想大学院大学 (東京都港区南青山3-13-16 東京メトロ・表参道駅下車1分)

Map: (<http://www.mpd.ac.jp/access/>)

【定員】 各回 30名

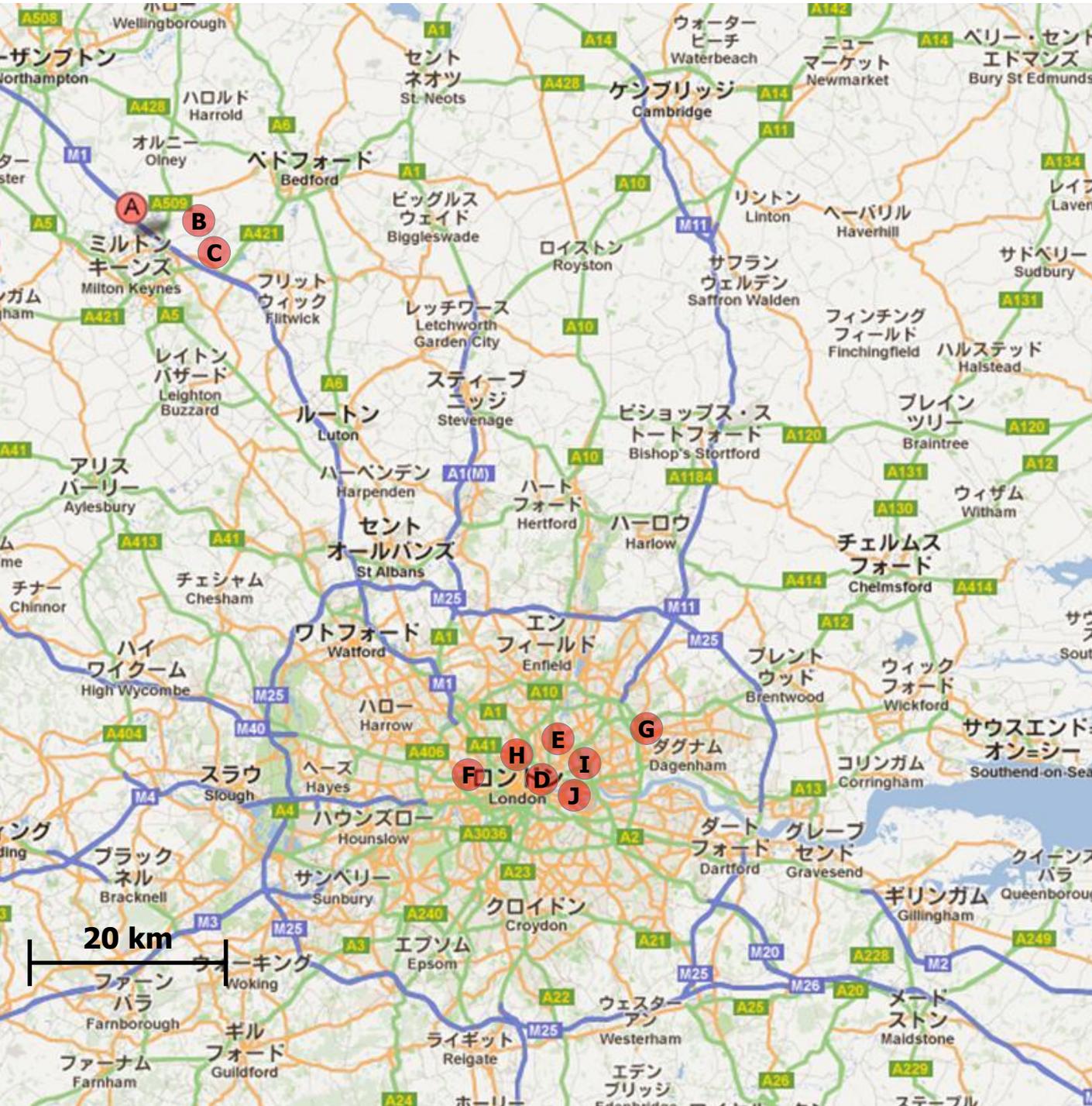
【費用】 無料

説明会参加をお申込みの方はこちらから...

(<http://www.kankyo-business.jp/csform/UKtour>)

訪問候補先位置関係

- A. TEAM
- B. Rexam
- C. Milton Keynes City Council
- D. London Fire Brigade
- E. University of London
- F. Westfield Shopping Town, Westfield
- G. Westfield Shopping Town, Olympic Village
- H. London Research Institute
- I. B&Hs Management Ltd.
- J. CEREB



英国に新ビジネスを求める理由：

- 歴史的に英国は世界的貿易流儀の中心にあり、あらゆる変化を恐れずに受け入れてきた。従って、大手多国籍企業から個人企業までが英国に注目してきた経緯がある。また、英国企業は、違う環境や背景から事業を展開しようとする海外からの企業家に耳を傾ける事業先見性を持つ。
- その文化を受けて、英国政府はグローバル規模の事業を積極的に後押しし、大企業から個人企業までが平等に活躍できる事業環境をつくる努力を惜しまず、完璧でないことは隠さず常に改善の道を探る姿勢は、新事業を検討する企業家にとって大きな力となる。

サステナビリティ事業面に特化すると、英国はサステナビリティ事業のパイオニア的存在でといっても過言ではない。その理由は：

- 英国民に地球温暖化の現実性を疑う者はほとんどいない。そして炭酸ガス排出について非常に敏感である。
- 英国民の姿勢により英国政府も早くから温暖化対策へ積極的な方針をうっている。「カーボン報告義務」の存在がそれぞれの国の利害関係で難航する中、英国政府がカーボン報告義務を早くから施行している。また、英国政府の運用そのものが英国内のエネルギーマネジメントを推し進める内容になっている。(次スライド参照)
- そして英国を代表する機関、企業はサステナビリティ姿勢を常に向上する努力を怠っていない。

結果として、今日、在英企業と英国政府の気候変動方針のリーダーシップにより、英国はサステナビリティ事業におけるIT産業によるイノベーションの中心的な役割を果たしている。

エネルギー効率化 促進者

エネルギー効率化 受益者

2012

